

小学校四～六年生用

青淵・こころざし歳時記

～深谷のこころをつむぐ～

深谷市教育委員会

『青淵・こころざし歳時記』と深谷のこころをつむぐ』を手にするみなさんへ

深谷市教育委員会教育長 小柳 光 春

人は、誰もが「夢」を抱き、これを「こころざし」として掲げ、自分の人生を歩んでいきます。その道のりは、決して平坦ではありませんが、自らを叱咤し、友を思いやり、社会の中で助け合い、「夢」の実現に一步一步近づいていくのです。深谷市では、このような子どもたちの自立と成長を手助けしています。

そのため、深谷市では、郷土の偉人である渋沢栄一翁の教えを受け継ぎ、栄一翁が生涯を通じて大切にしていた「立志の精神（夢とこころざし）」と「忠恕の心（まごころと思いやり）」をはぐくむ教育を進めています。

平成二十四年度からは、栄一翁の思いや願い、生き方にふれることのできる資料として「渋沢栄一こころざし読本」を市内全小・中学生に配布し、道德の時間を中心に活用しています。

このような中で、この「青淵・こころざし歳時記」は、さらに、わたしたちが、よりよい人間関係を築き、社会生活の秩序を維持するために、欠かすことのできない「礼節（礼儀と節度）」を大切にする内容を加えるとともに、深谷市や各学校の特色ある活動等を織り交ぜ、月ごとにテーマを決めて学べるように構成しました。みなさんには、繰り返し、読んだり、暗唱したり、視写したりしながら、自分の心を見つめてほしいと思います。

また、児童生徒及び保護者や地域のみなさんが、目標の実現に向けて努力することによって、夢を「ふ」くらませ（立志）、思いやる気持ちを積極的に相手に「つ」たえ（忠恕）、時と場に応じたふさわしい態度を「か」んがえる力（礼節）をより一層心に刻み、これらが「ちゃん」と実践「で」きるように、また、まわりの人にも「すすめられたら、すばらしいことと思います。

ふるさと深谷に住み、育つ、みなさんの心に響き、いつまでも広く活用されることを願い、この『青淵・こころざし歳時記』と深谷のこころをつむぐ』を刊行いたします。



「ふっかちゃんです」を
合言葉に、「青淵・こ
ころざし歳時記」を読ん
で、自分の心を成長させ
ていきましょう。

ふくらむ夢
つたえる気持ち
かんがえる力
ちやんと
できます
すすめます



深谷商業高校 二層楼（にそうろう）

夢七訓

夢なき者は理想なし

理想なき者は信念なし

信念なき者は計画なし

計画なき者は実行なし

実行なき者は成果なし

成果なき者は幸福なし

ゆえに幸福を求める者は夢なかるべからず

※この「夢七訓」は、洪沢栄一翁が残したものとされています。



洪沢栄一翁の胸像
深谷商業高校「二層楼」資料室

「成功は君の夢から始まる」

鳥羽 博道氏 寄贈

目次

☆	腰骨タイム・夢を語る	4
四月	新たな一步を踏み出す	6
五月	鯉のぼりが元気に泳ぐ	8
六月	梅雨明けの青空を待つ	10
七月	太陽と友達から元氣をもらおう	12
八月	家族との絆を深める	14
九月	自分を見つめ直す	16
十月	お祭りで心躍る	18
十一月	日々の姿勢が実を結ぶ	20
十二月	今年の自分を振り返る	22
一月	新年の誓いを立てる	24
二月	そこまで来ている春を待つ	26
三月	未来に向かってはばたく	28
☆	立志と忠恕の取組	30
☆	渋沢栄一様へ	32



誠之堂（せいしどう）

※誠之堂は、栄一の七十七歳のお祝いとして、「第一国立銀行」の行員たちが建てたものです。東京から移築されました。



腰骨タイムです！

一日一回試してみませんか？

- ① いすに浅く座る。
- ② 両足をピッタリと床に着ける。
- ③ おしりを思い切り後ろに突き出す。
- ④ 反対におなかを前に出す。
- ⑤ 肩や胸に力を入れないで、両手は太ももの上に置く。
- ⑥ 下腹に軽く力を入れる。
- ⑦ 軽く目を閉じ、息をゆっくりとはききる。
- ⑧ おなかで空気を吸い込む。一分間で四〜五回呼吸し、気持ちいを落ち着かせる。

腰骨を立てる子

菱木 秀雄

下はらに力を入れて
腰骨をシャンと立ててごらん
かたやむねに力を入れないで
あごを引きましょう

すばらしい姿勢です
元気な体のもとです
あたまがすんできます

あなたのわがままに克^かてる姿勢です
あなた自身を見なおせる姿勢です
きびしい世の中をのりきる姿勢です



夢を語る時間です！

あなたの夢は何ですか？ 自由に書いてみよう！

★ 小学校四年生

★ 小学校五年生

★ 小学校六年生





四月 新たな一歩を踏み出す

「なぜ学校で勉強しなければならないのですか。」

渋沢栄一翁に聞きました。



渋 沢 栄 一

渋沢栄一は一八四〇年に生まれました。今から一七〇年以上前のことです。その頃の政治は、徳川幕府が行っていました。渋沢栄一は農民でしたが、子どもの頃から勉強や剣術に励み、徳川幕府の代表団の一人としてフランスに行って国の仕組みを学びました。日本に帰ってからは、明治政府に入り、その後日本の銀行や五〇〇以上の会社を興し、九十一歳で亡くなりました。

私たちの生活に必要なお金の仕組みや会社の仕組みを作った人が、渋沢栄一です。

ある人が、渋沢栄一に「学校で教えてもらうことは、大人になって働くときにそのまま役に立っていないのに、なぜ学校で勉強しなければならないのですか。」と質問しました。すると、渋沢栄一は、「学校で学ぶことは、大人になって働くときに必要な知識や技術の、下ごしらえなんだよ。学校は社会に出てから働くための準備をするところなんだよ。」と答えました。



小学校の道徳授業

渋沢栄一の答えをわかりやすく言うと、かけ算九九を覚えて分数の計算を練習したり、物語文を読んだり、昆虫の体の仕組みを調べたりすることは、大人になって働くときにそのまま役立つことは少ないけれど、仕事について考えようとしたときに、子どもの時に覚えたり考えたりしたことがないと、何も思い浮かばないということです。たくさん勉強した経験が、新しいことを考えるときに役に立つのです。だから、小学生のうちから学校や家でも勉強をして、新しいことを覚え、考える方法を学んで頭を鍛えておくことがとても大切なのです。そして、勉強することと同じように、朝のあいさつをすることや人に親切にすることも、子どものうちからしておかないと、大人になって急にやりなさいと言ってもできないことなので、今から身につけておくことが大事です。

渋沢栄一は「人は死ぬまで勉強しないといけません。」と言っています。大人になって仕事をしようになっても、勉強していかないと仕事はうまくいきません。よい習慣を身につけ、大人になったときに頑張れる力をたくわえてほしいと思います。

社会のため、人のためになる大人になるための準備をするのがみなさんにとっても重要なことです。

社会で活躍する人になるために、あなたはどんな準備をしていますか？



瀧宮神社の桜



五月 鯉のぼりが元気に泳ぐ



数人の子どもたちが、オニごっこをして遊んでいます。でも、なんだかおかしい。さっきオニだったあの子は、またオニになっている。あつ、やっとつかまえた。えっ、なのに、またオニになっている。

それを見ていた六年生が思わずかけ寄って言いました。「ねえ、オニって一人なの?」「オニってずっと同じなの?」「オニごっこって、つかまえたり、つかまったりするから、面白くないの?」

遊んでいた子どもたちは、少し考えました。「ねえ、もう一回じゃんけんしてオニ決めよう。」ずっとオニだった女の子が、にこっと笑いました。

ああ、六年生が、ちゃんと六年生になってきたな。



空を泳ぐ鯉のぼりのひれが、
ぐっと大きく揺れました。

おもいやり算

困っていたり、悩んでいたたり、
心の中は見えにくいけど、小さな
やさしきで、きっと気持ちちは通じ
合う。

それは人を笑顔にする算数、「お
もいやり算」。

＋ たす (たすけあう)
－ ひく (ひきうける)
× かける (声をかける)
÷ わる (わけあう)

一人ひとりの心づかいが、大き
な答えになるはずです。

あなたは、どんな思いやりをもっていますか？



六月 梅雨明けの青空を待つ

へチマとぼく

雨水と日光をいっぱいあびて、
へチマは、ぐんぐん大きくなる。

毎日勢いよく伸び続けていくツル。
あっちにいたり、こっちにいたり、
太く、しっかりとしたツルを
巻きつけていく。

そんなへチマは、
今のぼくと少し似ている。

あっちにいたり、こっちにいたり、
たくさんのかんことを経験しながら、
いろいろなことに迷いながら、
ぼくも、ぐんぐん、ぐんぐん大きくなる。

たくさんのかんを咲かせ、
大きな実をつけられるように、
太く、しっかりと、
自分を伸ばしていこう。

「子曰く、過つて改めざる、これを過ちとす。」

過ちに気がつき、改めることができれば、もう過ちではありません。過ちをそのままにしたり、ごまかしたりして改めないことを「過ち」というのです。

世界一のとうもろこし畑

おじいちゃんちは農家

毎日 毎日

おいしい野菜ができる

今はとうもろこし

おじいちゃんちのとうもろこしは

何と言っても

ジューシーで甘い

「今年もうまい

とうもろこしになったな」

そんな自慢のとうもろこしは

見た目もきれいで大人気

テレビでも放送された

そんなとうもろこし畑は

世界一！

そんなおじいちゃんが

大好き！

地域の自慢を探してみましよう。

岡部地区のとうもろこし畑



七月 太陽と友達から元気をもらおう

ささえてくれた

友達へ



林間学校の朝、本当はとても不安だったんだ。両足のイボのちりようで、ふつうに歩けないから、みんなにめいわくをかけるのがいやだったんだ。

でも、みんなは、荷物を持ってくれたり、いろいろ助けてくれたり、はげましてくれたりしてくれたね。ぼくはすぐうれしかったんだよ。とても楽しい林間学校になったんだよ。みんな本当に、「ありがとう。」これから、みんなが何か困っていたら、ぼくがみんなにお返しをするからね。ありがとうのリレーになるかもね。

「手紙でつむぐ『ありがとう』の思い」作品より

言葉の力

言葉は
何のためにあるの？

人の心を
傷つけるため？

「いいえ」

人の心を
温めるためです。

この言葉で
元気になりました。

この言葉で一歩
歩み出すことが
できました。

そんな言葉を
教えてもらいました。



言葉の力について考えてみましょう。

「応援に行くのも、
チームプレーだ。」
けがで試合に出られない兄に、
父が言った一言。心のつなが
りの大切さを感じた。

「落ち込んでいたって
何にもならないよ。
一つふりきってみれば。」
落ち込んでどうしようもない
ときに友達が言ってくれた。
なんかすっきりした。

「つらいなら『つらい』って
言っていんだよ。」
つらいことがあって一人でいた
ときに、友達が言ってくれた
一言が心にしみた。

「努力は自分を
裏切らないよ。」
先生に言われ、頑張ろうと
思った。

「スポーツは泣いた数だけ
上手になる。練習はうそを
つかない。」
上手にできなくて泣いていた時、
コーチに言われた。
負けない！と思った。

「失敗は間違いじゃないん
だよ。がんばることが大切
だよ。」
自分はがんばっているつもりでも
失敗してしまう。そんな時、
家族に言われ、元気が出た。



八月 家族との絆を深める

家族を思う六つのショートストーリー

一

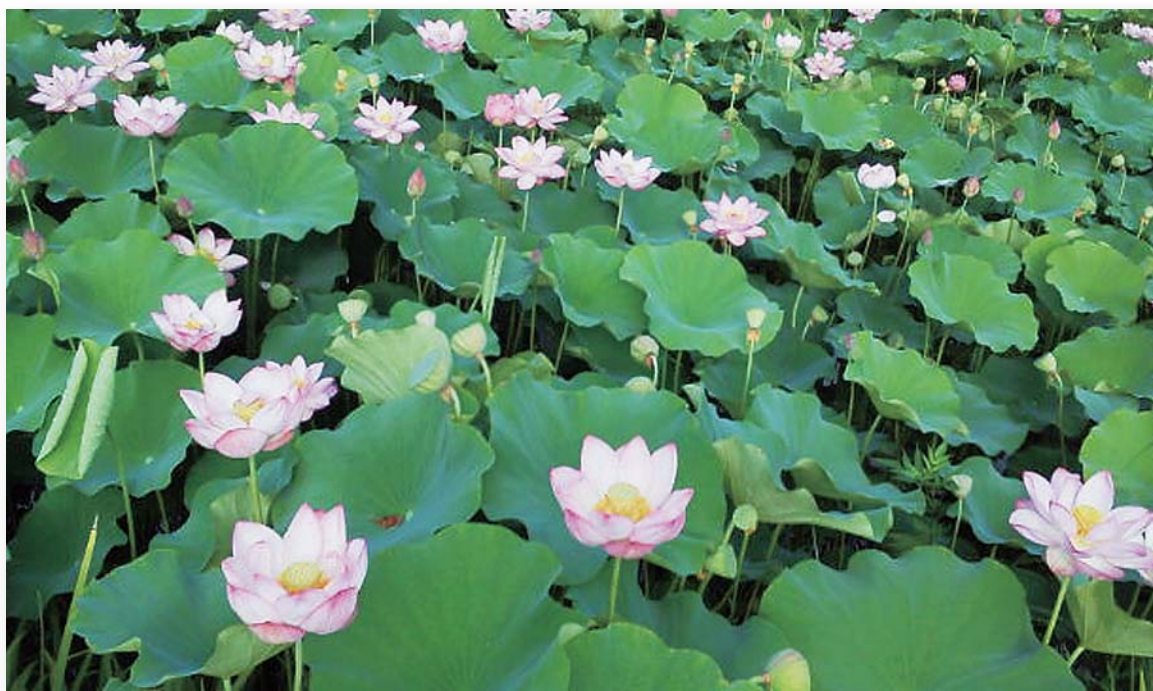
父がオジギソウを買ってくれた。
父は朝早くから夜遅くまで仕事をしている。
私はオジギソウに向かって、
今日もおじぎをする。

二

けんかをしてても、
だまって作ってくれるごはん。
いつもは、おいしいのに……
おいしくなかった。

三

母に怒られていじけているとき、
「大丈夫？」
そっと声をかけてくれるおばあちゃん。
ずっと、ずっと元気でいてね。





四

「宿題は、宿題は。」と、うるさく言う母。
「うるさいな、わかってるよ。」
と、強く言ってしまうわたし。
本当はわかってるのに、
優しく言えなくてごめんね。

五

「アイス食べる。」
それがおばあちゃんのあいさつ。
「もちろん食べるよ。」
二人で並んで食べるアイス……
私は大好き。

六

ぼくが調子の悪いとき、
何度も、何度も、
「大丈夫、大丈夫？」と言ってくれた。
お母さんも疲れれると思うけど……「大丈夫？」

いちばん身近にいる人への優しさを忘れていませんか？



九月 自分を見つめ直す

無言の連携プレー

夏の暑さがまだ残る九月の日曜日、私は駅に向かうバスに乗りました。バスの中には、リュックを背負ったちよっと怖そうな表情の男性が手すりにもたれかかっていました。私の隣には楽しそうに話をしている小学校高学年ぐらいの女の子が座っていました。後ろの席には数名のお客さんが乗っていました。

次のバス停でバスが止まると、そこには白杖を持った目の不自由なおじいさんの姿がありました。おじいさんは白杖で場所を確認しながら左手は何か探っているようでした。そのおじいさんを見つけたとたん、手すりにもたれかかっていた男性は、おじいさんの左手を両手で支え、バスの中へと優しく誘導しました。数秒の出来事でしたが、まるでスローモーションのように私の目に飛び込んできました。

私は思わず座席から立ち上がってしまいました。隣を見ると私と同じように女の子二人も立ち上がっていました。すると、後ろの席にいた女性が立ち、おじいさんの右手を支え、空いた席に座らせたのです。おじいさんは、周りに何度も何度もおじぎをしていました。

男性はまたもどのように手すりにもたれかかり、女の子は楽しそうにおしゃべりを始めました。

バスは何ごともなかったかのように出発しました。



靴そろえに映る、その人の心

低学年から続けている「靴そろえ」
「少し」気にかければできるけど、
気にしないと、できなくなる。
高学年になった今、できているだろうか……

一つ一つのいいさに、どんな意味があるのでしょうか？



十月 お祭りで心躍る

受け継がれる

ふるさとのまつり

はんでんの着方
てぬぐいの結び方
演奏前にはいつも
地域の先生に見てもらう
「よーし！」
という先生の声に
わたしたちも
「よしっ！」
と気合いが入る
音の出し方や歌い方
その一つひとつにも
ずっと受け継がれてきた
伝統がある



重忠まつり



小前田屋台まつり





桜まつり



七夕まつり



深谷まつり

今日
その思いをつないで
「せーの！」
「そーれ！」
力強い音を響かせる

地域の先生から私たちに
過去から現在
そして未来へと
変わらずに続く
人の願い



いつの時代も変わらぬ
ふるさとの
おいと心意気
深谷市では
今も数多くのまつりが
行われています

地域の人とふれ合っていますか？





十一月 日々の姿勢が実を結ぶ

勤勉で誠実な人に

深谷市のある製菓会社の社長さんに、「どんな人材がほしいですか」と聞くと、即座に「勤勉、まじめ、誠実」と返ってきました。さらに、「それを判断するいい方法があるんですよ。」と自信ありげにおっしゃいました。それは、ラジオ体操をさせるといふ意外なことだそうです。

「ちゃんと手を伸ばしてやっているかどうかを見れば、一発で見抜けるもんですよ。ラジオ体操をやれと言われて、これになんの意味があるの？と思っている人は、いい加減な動きしかない。意味があるかどうかは分からないが、ちゃんとやっている人は、じつは仕事の姿勢も勤勉、まじめ、誠実な人なんですよ。」





自分を支えてくれている
すべての人や物に

礼を正す



背筋を伸ばし

姿勢を正す

それだけで

しゃんとする

それだけで

気持ちもそろう

「真面目さ」「真剣さ」「楽しさ」「面白さ」とは、どういふことだろうか？





十二月 今年の自分を振り返る

時間を守り、活かす

学校生活では五分間が重要です。

休み時間のうち五分あったら、何ができますか。

五分あったら、体育着に着替えることができます。

五分あったら、トイレに行くことができます。

五分あったら、次の授業の準備ができます。

五分あったら、休み時間に校庭にいても、

授業が始まる前には教室に戻ることができます。

五分間を意識して行動することで、

時間を守ることができるようになります。



深谷駅前イルミネーション

五分間を大切にすることで、
学校の生活はきびきびした
気持ちよいものになります。

「五分間を大切にしよう」を
自分に言い聞かせて
生活してみてください。

きっとチャイムに合わせた生活が
自然にできるようになります。

時間を守ることは、
日本人の素晴らしいところだと、
世界中の人たちから尊敬され、
信頼されています。

まずは五分間から。
それがとても大切なのです。



時間を大切にしたい一年の生活を振り返ってみましょう。



一月
新年の誓いを立てる



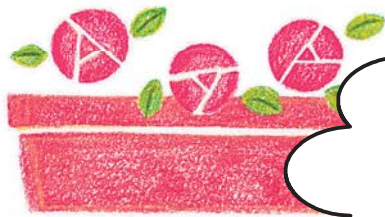
1 「朝一人で
起きられる」

2 「決まった時間に
就寝・起床・はみがき・
排便をする」

できたことを
続けること

10のものさし

あなたの成長は何cmですか？



3 「好き嫌いなく、
食事ができる」

4 「あいさつ、
返事ができる」

5 「片付けができる」

10「進んで
手伝いができる」

9「友だちと遊べる」

8「机や部屋の
整理整頓ができる」

7「自分から学ぶ
姿勢がある」

成長とは、できることを
増やすこと

成長を確かめる

一つ1cmの成長としたら



今年の一年の目標
を、家族で話し合っ
てみましょう。

6「我慢する力がある」



二月　そこまで来ている春を待つ

朝のできごと

仕事に行く途中で、よく見かける女子高生がいる。
彼女は道を歩きながら、よくしゃがみこんでいた。

(何か落としたのかな?)

(具合が悪いのかな?)

(大丈夫かしら...?)

見かけるたびに気になっていた。

そんな彼女を車の中から見かけて数日。

彼女が何をしているのが、わかってきた。

手には白いビニール袋を持ち、
身をかがめて...

歩道に落ちているごみを拾っていたのだ。

拾っては歩き、歩いては拾う。

誰に見られているわけでもない。

ほめられるわけでもない。

拾っても拾っても、ごみは毎日なくならない。

それでも毎日続ける、

その気持ち。その姿勢。

「今日も一日、がんばろう!」

そんな気持ちになった朝だった。

あなたの身近なところにも、
努力して春を待つ人がいます。



四月になると、畠^{はたけ}の麦のほはのび、なの花は
ちらほらと黄色くさはじめ、利根川へはい
る新川^{しんかわ}の土手には、たんぽ^ぽ、や、れんげさ^そう
の花がさいて、村はまるで絵のやうにきれい
になりました。

北川千代『お父さんの村』より

※北川千代：深谷市で生まれた児童文学作家

郷土には、どんな偉人がいますか？

深谷市北部を流れる小山川



三月

未来に向かってはばたく

いま
わたしたちは
飛び立ちます

深谷市川本地区の荒川に飛来する白鳥

いま、飛び立つとき。

これまでの十二年間、
小学校六年間、
「ありがとう。」

そんな

「ありがとう」の気持ちを胸に
輝く未来に向かって

大きく
大きく

羽ばたきます。

あなたが

「ありがとう」を伝えたい人は、
だれですか。

「子曰く、父母は、ただその疾をこれ憂う。」
お父さんやお母さんは、ただ子どもが病気になる
ぬことを心配するばかりです。親に心配をさせたり
しないようにすることが孝行となるのです。

「子曰く、学ぶことは及ばざるがごとくす。
なおこれを失わんことを恐る。」

学問は、これで十分というところにはいたりませ
ん。自分は「まだまだ」という思いで、また、忘れ
てしまわないかと心配しながらも励み続けなければ
ならないのです。



まごころ訪問

一人暮らしのお年寄りに、
花と手紙を届けます。



田野畑村へ

こいのぼりにのせて、被災地
の田野畑村に応援メッセージ
を届けました。今は、森づく
りの苗木を育てています。



忠恕の心

まごころと思いやり



手紙でつむぐ「ありがとう」の思い

感謝の気持ちを手紙で表し、「ありがとう」があ
ふれる深谷の街づくりを目指します。



まごころ先生

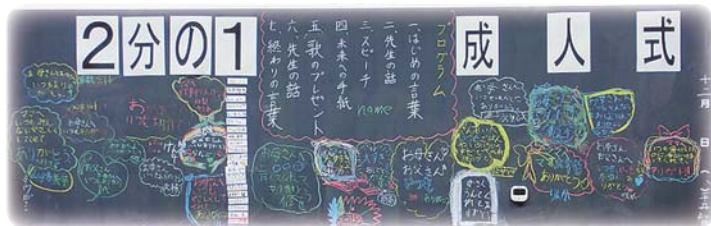
道徳の時間で、渋沢栄一翁
の生き方を学びます。





1/2成人式

10歳になった4年生が、未来の夢を語ります。



産業祭への参加

産業の特色を知り、地域振興に貢献します。



社会体験チャレンジ

職業体験学習で、働くことの意義を学びます。



立志の精神 夢とこころざし



深谷科学塾

専門機関を見学し、最先端の科学技術を学びます。

立志式

中学生が、将来の夢やこころざしについて語ります。



深谷国際塾

世界で活躍する人から話を聞き、世界に貢献する心を育みます。





渋沢栄一の命日（11月11日）に行われる「にぼうと会」

渋沢栄一様へ

私は、総合の時間あなたの事を調べました。あなたの生き方、思い、論語を調べました。あなたの志や生き方を知って、私は、人に優しく手を差し伸べてあげられるあなたのようにになりたいです。人に優しくすると、相手も自分もすがすがしい気持ちで生活できるという事も学びました。「過ちを犯して過ちを直さない事が過ちだ」という論語の言葉も心に残りました。人生の教科書としてあなたを手本にしたいです。大切なことをたくさん教えてくれてありがとうございます。

『手紙でつむぐ『ありがとう』の思い』作品より



平成二十五年 度 深谷市道徳資料作成委員会委員及び協力者

作成委員

松島 猛	岡部中学校長（委員長）
松村 郁己	上柴東小学校長（副委員長）
木村 彩乃	幡羅小学校
本多 斎士	深谷小学校
加島 佳子	藤沢小学校
関根千鶴子	上柴西小学校
栗木 恭子	上柴東小学校
久保 清美	豊里小学校
須藤喜美子	岡部小学校
佐澤かおり	本郷小学校
篠原 麻衣	川本北小学校
坂下 徳子	花園小学校
大井慎太郎	幡羅中学校
宇山 康子	深谷中学校
大竹 真人	藤沢中学校
神田さおり	豊里中学校
清田 恵理	岡部中学校

児童作品

小島 遙	大寄小学校五年（二十年 度）
江田万佑莉	花園小学校六年（二十四 年度）

協 力

新井 愼一	渋沢栄一記念館解説員
篠田鼎一郎	渋沢栄一記念館解説員・元小学校長
梶並 勉	元小学校長
清水 勉	花園中学校長（写真）

事 務 局

学校教育課	課長	片桐 雅之
学校教育課	主幹	持田 栄
学校教育課	課長補佐兼指導主事	浅見 哲也
学校教育課	課長補佐兼指導主事	荻野 浩和

「青淵・こころざし歳時記」

～深谷のこころをつむぐ～ 平成二十六年三月発行

発行 深谷市教育委員会
編集 深谷市教育委員会学校教育課

〒三六六―〇八二三

埼玉県深谷市本住町一七番三号

TEL 〇四八―五七二―九五七八

FAX 〇四八―五七四―一七四四

HP <http://www.education.fukayasaitama.jp/>



年 組	4 年	組	名 前	
	5 年	組		
	6 年	組		